

出題番号	問題番号	問題文			正答	text ハート	配点	図
		選択肢 1	選択肢 2	選択肢 3				
56	46	期末の実地棚卸で在庫の架空計上をしたことで粗利益率はいくらになったか。			3	補 13/75	3	○
		32.0%	32.8%	31.6%				
66	47	店舗内で商品の値札を貼り変えるなどして不当に安い値段で支払いを済ませる、不正な返品などで金銭を得るような犯罪は刑法ではどの犯罪に当てはまるか。			3	77	1	
		窃盗（刑法235条）	使用窃盗（刑法235条）	詐欺（刑法246条）				
76	48	その店舗で以前万引を行った者が店舗に入ることの許諾についての説明で正しいのはどれか。			3	78	1	
		もし過去その店舗で万引をした人間を見つけた場合は、店長（店舗責任者）は法により入店を拒絶できる	警察に事件として通報し立件された場合は、入店を拒絶できるが、犯罪として立件されていなければ拒絶できない	基本的人権を侵害するために法的には入店を拒否することはできない				
7	49	アンケート調査による推計では日本における商品ロスの主要因は次のどれか。			3	79	1	
		従業員による不正	管理上のミス	万引など外部の人間による不正・不当行為				
17	50	全刑法犯に占める万引窃盗の比率はどのような傾向にあるか。			3	80	1	
		その年によって増減があり、安定していない	ここ11年ではあまり変化がない	年々その比率は高まっている				
27	51	「緊張感の高まり、快感、満足感を感じる事が目的で、中には万引した物自体にはあまり関心をもたない」とされる万引犯を何と呼ぶか。			3	81	1	
		前頭側頭型認知症	サイコパス	クレプトマニア				
37	52	「グループで計画的に店舗を狙った窃盗などの犯罪行為を繰り返し、不当に得たものを換金して現金などを得ること」などを「小売業への組織的犯罪」と呼ぶか。			3	83	1	
		G R C（Group Retail Crime）	G R T（Group Retail Theft）	O R C（Organized Retail Crime）				
47	53	小売業が実施している上位の四つの万引防止予防策は何か。			3	87	1	
		「防犯カメラの設置」「棚卸を頻繁に行う」「従業員のお客様への声掛け」「社員などの店内巡回」	「防犯カメラの設置」「商品陳列の工夫」「従業員のお客様への声掛け」「ミラーの設置」	「防犯カメラの設置」「商品陳列の工夫」「従業員のお客様への声掛け」「社員などの店内巡回」				
57	54	お客に声掛けを行うときに重要なことは何か。			3	87	1	
		不審な行動をするお客を選んでは必ず声をかけ、そっと監視する	補充など忙しいときは、作業をしながらでも、お客に背を向けてでも「いらっしゃいませ」の声をかける	作業が忙しくても、お客の顔を見て挨拶をする				
67	55	万引きの可能性のある拳動にスコーピングというものがあがるが、スコーピングについての説明で正しいものはどれか。			3	88	1	
		できるだけ従業員やその他の客に対して背を向ける	右左と動き回る	キョロキョロ周りを見る				
77	56	万引を疑われるような行動をしている者を発見したときに店舗従業員にとって最もよい行動はどれか。			3	91	1	
		万引しようとする者を見つからないように監視して、万引が実行されたら捕捉する	万引しようとする者を見つからないように監視して、万引が実行されたら、すぐに警備員、もしくは店長など店舗責任者に通報する。	相手に見えるように監視し、万引しようとする者が万引を断念するようにしむける				
8	57	店内の監視および警備についての説明で正しいものはどれか。			3	91	1	
		制服警備員も私服警備員も万引犯を捕捉し排除することを役割としている	ロスの原因が明らかに万引であると判明しているときには私服警備員を導入し、ロスの原因が十分にわかっていない時には私服警備員を導入すべきではない	制服警備員による店舗巡回は、買い物客やそこで働く従業員にとって「安心・安全」を印象付け、万引犯に対する強い牽制効果が期待できる				
18	58	セルフレジにおける不正対策についての記述で正しいものはどれか。			3	補 22/83	1	
		店長（マネジャー）はセルフレジ担当者で不正行為を発見することを優先して行うように指示すべきである	セルフレジ担当者は、レジを操作できる従業員なら誰でも行うことができるので事前にセルフレジ担当としての教育は特に必要とはしない	顧客の不正行為を見つけるよりもセルフレジの操作や支払い手続きで困っている顧客を助けることを優先すべきである				
28	59	インターネット上での販売（eコマース）での盗品販売についての説明で正しいものはどれか。			3	補 25/94	1	
		世界的に有名なデジタル・プラットフォームが運営しているオンライン・マーケットプレイスでは盗品の販売は少なく安心して商品を購入できる	オークションやフリマサイトへの盗品を出品する者は万引などで商品を窃取した本人であり、第三者が介在することはない	オークションやフリマサイトに加えてオンライン・マーケットプレイスでも万引などで得た盗品を出品して換金する者がいるが、必ずしも出品者は当事者に限らない				
38	60	万引などの犯行の目撃情報の共有について正しい説明はどれか。			3	補 27/94	1	
		万引行為の目撃情報をいち早く自社内で共有することは行わなければならないが、競合する他の企業と連携して情報を共有することはすべきではない	万引犯の風体、服装、見た目の年齢などの目撃情報をたたくことができるので事前にセルフレジ担当としての教育保護の観点からすべきではない	万引行為の目撃情報を自社内で共有するだけでなく近隣の競合相手の企業とも連携して情報を共有することで万引を未然に防ぐことにつながる				
48	61	多くの店舗は、売場から従業員は少なく、お客は自由に商品に触れることができるが、この方式を何と呼ぶか。			3	95	1	
		セルフ・ショッピング	フリー・ショッピング	セルフ・サービス/セルフ・セレクト				
58	62	ロス・プリベンションを学ぶ必要のある者についての説明で正しいものはどれか。			3	104	1	
		小売業におけるロス・プリベンションの専門家育成することを最優先で行うことが必要で、他の部署や小売業以外の人間は学ぶ必要はない	小売業に携わる者はロス・プリベンションを学ぶ必要はあるが、小売業以外の企業の人間は学ぶ必要はない	小売業に携わる人間だけではなく、小売業以外の関係する企業の人間もロス・プリベンションを学ぶ必要がある				
68	63	ロス・プリベンションの専門部署についての説明で正しいものはどれか。			3	105	1	
		日本の小売業の多くには、ロス・プリベンションの専門部署があり、責任者は本部長、執行役員などの上級管理職である	欧米の小売業の大企業でもロス・プリベンションの専門部署はあるものの、総務部門などに含まれる一部に過ぎない	日本の小売業の多くには、ロス・プリベンションの専門部署は置かれておらず、ロス対策の責任者は店長であるとしているものも少なくない				
78	64	ロス・プリベンション担当以外の部署の人間の役割についての説明で正しいものはどれか。			3	107	1	
		ロス・プリベンションの重要性は理解している必要はあるものの、その対策の実行は専門部署に任せるべきである	店長もしくは物流センター長は、ロス対策のキーパーソンであり、従業員の支援や動機付けよりも、自らがロスの原因を調査し、その対策を実行すべきである	店舗もしくは物流センターの従業員は、ロスの原因となる不正や業務上の誤りを防ぐ第一線にあり、一人ひとりがロス管理において大きな役割をはたしている				
9	65	外部人材の活用についての説明で正しいものはどれか。			3	108	1	
		制服警備員は可能であれば自社で雇用することがのぞましい	警察へは何か事件（万引など）が発生した時には連絡すべきだが、それ以外は必要はない	各地域の警察署、警備会社から派遣される警備員（制服・私服）を効果的に活用することは外部の犯罪行為に対して有効である				
19	66	ロス・プリベンションへの認識（アウェアネス）を高めるための教育の基本は商品管理と「5S」である。トヨタ流改革でよく知られているものであるが、それでは「5S」とは何か。			3	110	1	
		信頼・整理・整頓・清掃・成功	信頼・整理・清潔・しつけ・正直	整理・整頓・清掃・清潔・しつけ				

(Q46 出題順56)

項目	今期	
	正しい	架空在庫計上
期首在庫高（原価）	10,000	10,000
期首在庫高（売価）	14,000	14,000
期中仕入高（原価）	68,000	68,000
期中仕入高（売価）	99,000	99,000
期中売上高（売価）	101,000	101,000
期末在庫高（売価）	11,000	13,000
ロス高	1,000	-1,000
ロス率	1.0%	-1.0%
粗利益高	30,661	31,895
粗利益率	30.4%	31.6%